



# 広 報 こ し じ

12 月  
(No. 81)

発行/越路町役場 (新潟県三島郡越路町) TEL (来迎寺) 代 300番 ■ 印刷/北越印刷株式会社



町内一周の駅伝大会

### 秋の

#### 体育行事成績

○町民駅伝大会(町内一周)  
(中学の部) 時 分 秒  
優賞 塚中A 1・35・50  
二位 越中A 1・36・00  
三位 越中B 1・39・02  
(一般の部)  
優勝 石津青年 1・40・45  
二位 岩塚製菓 1・42・24  
三位 浦青年A 1・42・57

○越路地区庭球大会  
優勝 篠花、中島地区  
二位 岩塚B

○羽織下タッビーとじ



○町民バトミントン (塚山中)  
(小学生の部)  
三、四年男一位大矢裕、二位長谷川正法、女一位山崎彰子、二位神林里美  
五、六年男一位長谷川吉一、二位藤沢茂宏、女一位大塚ひとみ、二位原尚子  
(一般の部)  
選抜一位米山嗣家、二位島島新一  
一般一位佐藤政夫、二位郷和彦

細かい辛苦な事の好きな人に向く内職で、ガーター編の端を拾い目してとじ合わせ、羽織下を作ります。必要器具はタッビー(編針)一本で約二日受講すれば、編物の経験のない人でもできます。ただし県外からの仕事なので少なくとも五名以上のグループが必要で、  
○反物価格札換り  
反物についている価格札を作る内職で、「こより」を作る要領で反物に結び付ける部分を燃る作業です。約十日間技術指導を受け、その後練習

日時 十二月二十二日午前  
十時から午後三時  
場所 越路町役場  
担当者 関東信越国税局税務相談官 坪田正治

建設苦情処理相談所の開設  
建設に関する一般的な相談をお受けする相談所が開設されます。お気軽においでください。  
日時 十二月十三日(月)午前十時～午後三時  
場所 越路町役場

十二月の危険物収集日程

今月の行政苦情相談は  
十二月二十一日  
お気軽においでください

税の巡回相談が役場で開設  
税金に対する苦情や、いろいろな相談に応ずる巡回相談が開かれますので、ご遠慮なくご利用ください。

部 落 名	12 月	部 落 名	12 月
野島	1日(水)	塚寺島田沢谷山坂沼	6日(月)
谷島	2日(木)	来 動 野	7日(火)
谷島花島野沢寺日条	"	飯十中岩不東西塚小菅	8日(水)
迎 下	3日(金)	計	9日(木)
岩釜 神中藤飯西中米朝沢	6日(月)		7日間

十二月は降雪の状況により変更になることがあります。一月、二月は収集を休みます。

## 一足先の植樹祭

来年、新潟県に、天皇、皇后両陛下をお迎えして行なわれる植樹祭を記念して、越路町では一足先の十一月九日に、楨形山とその登山道に銀杏を植樹しました。  
この日は冷たい雨が降っておりましたが、山谷側からは岩田の老人倶楽部、飯塚側からは飯塚の老人倶楽部のお爺さんお婆さんが昔とった杵柄かと、あざやかな手さばきで植込みと冬囲いにご協力下さいました。



### 今月の主な内容

- ▼町の家計簿を紹介し、防犯はみんなの注意と協力
- ▼写真でみる塚山保育所
- ▼歳末たすけあい募金
- ▼秋の叙勲と表彰

町の人口 (10月末日現在)

世帯数	2,951
人口	13,709人
男	6,665人
女	7,044人

10月の住民移動状況

出生	14人	死亡	6人
転入	7人	転出	3人
転入	7人	転出	3人
転入	21人	転出	47人
転入	8人	転出	21人
転入	13人	転出	26人

### ポストコーナー

年末の郵便はお早めに  
日頃郵便局のご利用をいたしきありがとうございます。  
いよいよ年末も近づきお馴染みの年賀はがきの時節になりました。  
年末の郵便局では、この一年中で郵便局の一番ラッシュする時期で、このたくさんのお郵便物をより早く正確にお届けするため、次の点にご協力をお願いします。  
(1) 年末小包は、なるべく十時までに届けてください。  
(2) 年賀郵便は十二月十五日から二十二日までの間にお出し下さい。元旦配達になりますので十二月五日、十二日、十九日、は日曜日です。ご家族そろって年賀状をお書のうえなるべく早くお出し下さい。  
郵便番号を書きますと「都、道、府、県名」は省略できます。

### 駅だより

来迎寺駅

年末年始の臨時列車  
ご案内  
年末年始には、列車が大変混雑いたします。特に混雑が予想される東京方面の「発着席券(五十円)」を来迎寺駅で発売いたします。  
なお、座席を確保していただくため、信濃川五二号の「発着席券(五十円)」を来迎寺駅で発売いたします。  
運転期間 一月二日から一月七日まで  
発時刻 来迎寺駅一〇時〇五分  
着時刻 上野駅一五時〇九分  
先 上野行(上越線経由)  
後 上野行(上越線経由)  
急行信濃川五二号



国県支出金が六千六百八十九万九千円、町債(借入金)三千九百万円となつています。

これらの状況はグラフをご覧いただきます。

歳入総額では、前年度より三千五百二十九万円の伸びとなり税収及び地方交付税の伸びと越小、公営住宅等建設事業に伴う国県支出金、町債等が主体になっていきます。

この主要収入の伸長率の推移は表二のとおりであります。

歳入決算状況の区別構成比により歳入構造を見た場合地方交付税、自動車取得税交付金、交通安全対策特別交付金、国県支出金、地方債等国や県の意志決定に基づいて交付されるいわゆる依存財源の割合は六十七パーセント以上を占め自主財源が低くなっています。

このような歳入構造は国庫依存度の高い後進型ということになっていきます。

歳入のうち主要なものについて、

町税の内容はグラフのとおりであり、経済状況を反映して順調な伸びを示し決算額一億二千四百六十六万となり、

前年度より一千九百万円余り増加し特に町民税(法人分)固定資産税の伸長率が目立っています。

徴収率については、町民各位のご協力で若干の滞納繰越分を除いては、ほとり百分の完全徴収となっております。

地方交付税

普通交付税一億八千九百六十三万七千円、特別交付税一千四百二十二万円で総額二億三

百七十五万七千円は歳入全体の三十九パーセントを占め町財政の最も主要な財源であり前年度に比べ十六パーセントの増加となっております。

国、県支出金

歳入総額に対し十二パーセントの比重を占める国及び県の建設事業及び農道整備事業費等の補助金など決算額六千六百万円余りで町税に次ぐ主

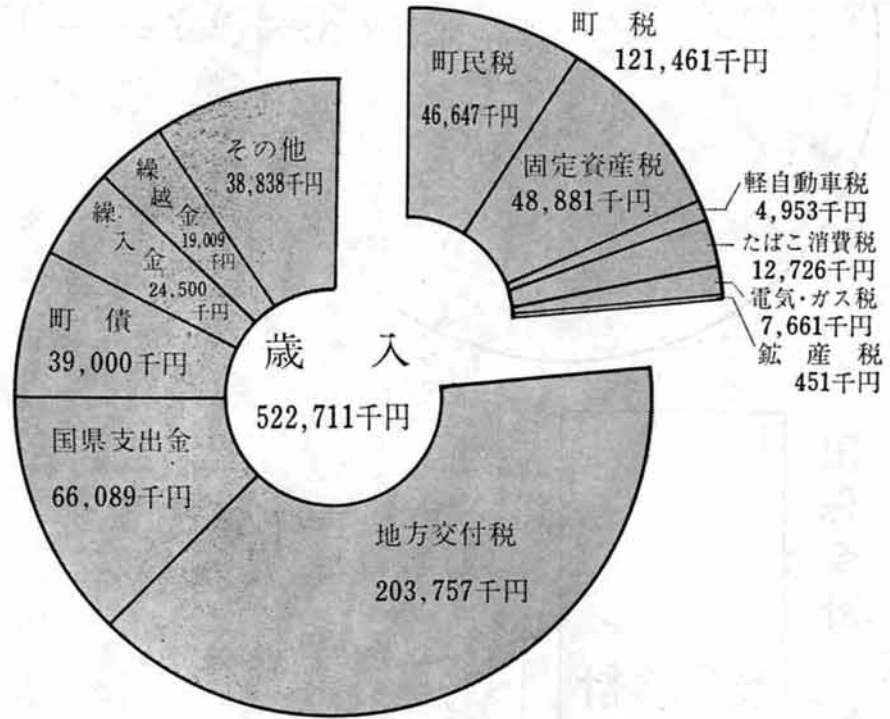


表2 主要歳入伸長率 (%)

区分	42-43の伸長率	43-44の伸長率	44-45の伸長率
町税	6.6	17.7	18.7
地方交付税	26.3	35.0	16.0
国、県支出金	△ 23.8	153.5	△ 28.6

表3 昭和45年度長期債の内訳 (単位千円)

区分	借入金額	借入先	利率	償還期間(年)
越路小学校建校債	18,000	郵政省	6.5%	24
公営住宅建設債	3,800	〃	6.5	19
越路小学校給食施設債	7,000	大蔵省	6.5	15
町道改良県貸付金	10,200	新潟県(自治振興資金)	6.5	5
計	39,000			

歳入の伸長率は、町民各位のご協力で若干の滞納繰越分を除いては、ほとり百分の完全徴収となっております。

地方交付税

普通交付税一億八千九百六十三万七千円、特別交付税一千四百二十二万円で総額二億三

百七十五万七千円は歳入全体の三十九パーセントを占め町財政の最も主要な財源であり前年度に比べ十六パーセントの増加となっております。

国、県支出金

歳入総額に対し十二パーセントの比重を占める国及び県の建設事業及び農道整備事業費等の補助金など決算額六千六百万円余りで町税に次ぐ主

要財源であり主な内容は次のようなものです。

越小建設関係補助 二千七百九十四万四千円

公営住宅建設補助 五百六十一万一千円

農道整備事業補助 七百七十七万七千円

失対事業費補助 三百六十六万六千円

国民年金事務費委託金 二百五十四万四千円

児童福祉関係費 二百八十八万七千円

米生産調整関係費 百二十二万二千円

二、町債

四十五年度の長期借入額は、三千九百万円であり、前年度より増加しております。

三、歳出の状況

昭和四十五年度の歳出決算は総額五億一千四百四十九万九千円であり、前年度より増加しております。

歳入の伸長率は、町民各位のご協力で若干の滞納繰越分を除いては、ほとり百分の完全徴収となっております。

地方交付税

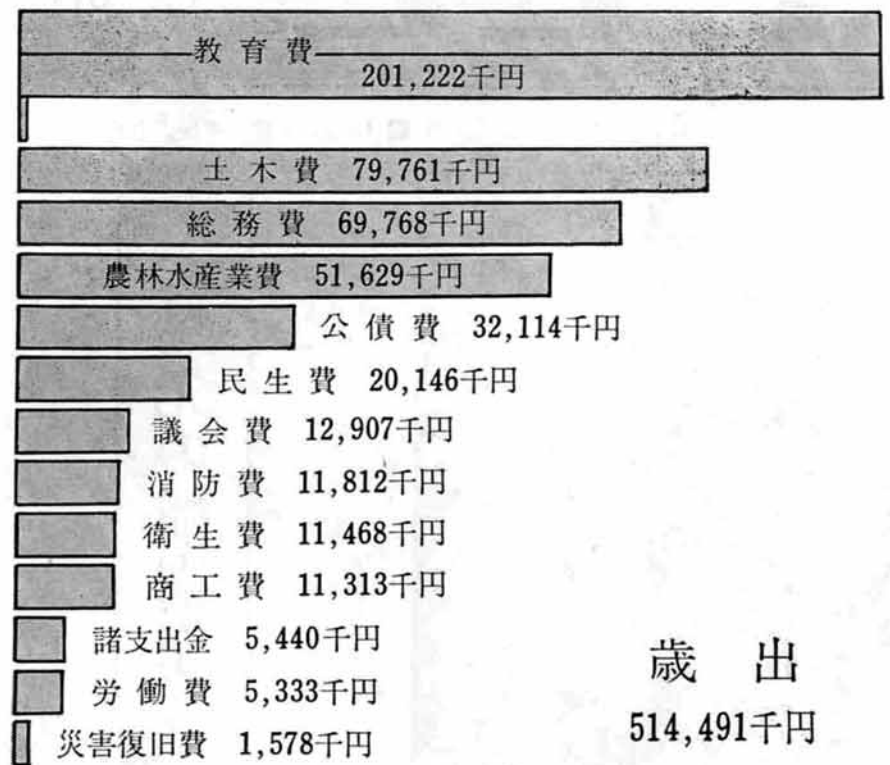
普通交付税一億八千九百六十三万七千円、特別交付税一千四百二十二万円で総額二億三

百七十五万七千円は歳入全体の三十九パーセントを占め町財政の最も主要な財源であり前年度に比べ十六パーセントの増加となっております。

国、県支出金

歳入総額に対し十二パーセントの比重を占める国及び県の建設事業及び農道整備事業費等の補助金など決算額六千六百万円余りで町税に次ぐ主

# 町の家計簿を紹介します



越路町告示第二十二号

越路町財政事情を

次のように公表します

昭和46年12月1日

越路町長 勝又俊導

一、決算のあらまし

昭和四十五年度における一般会計は、年度当初四億二千六百六十三万五千円でスタートしましたが年度中七回の予算補正により最終予算規模は五億二千八百五十二万六千円となり、これに対し決算額は表一のとおりとなり差し引き八百二十二万円の黒字(実質収支)となりました。

しかしながら歳入の中には四十四年度からの繰越金一千九百万九千円が含まれておりさらに財政調整基金の取り崩しが二千四百万円あり、歳出において財政調整基金の積立が三百五十九万九千円含まれており、これをそれぞれ差し引きした場合は昭和四十五年度における実際の収入支出(実

表1 決算概況 (単位千円)

区分	最予算	最終額	決算額(7)	前年度決算額(1)	増減(7)-(1)	増減率%
歳入	528,526	522,711	487,420	35,291	7.3	
歳出	528,526	514,491	461,410	53,081	11.6	
差引	-	8,220	26,010	△ 17,790	△ 69.1	

二、歳入の状況

歳入のうち金額的に大きいものは何と言っても地方交付税で二億三千七百七十七万七千円であり次に町税の一億二千四百六十六万一千円となりこれだけで全体の六十二パーセントを占めております。

町民各位のご協力で若干の滞納繰越分を除いては、ほとり百分の完全徴収となっております。

地方交付税

普通交付税一億八千九百六十三万七千円、特別交付税一千四百二十二万円で総額二億三

百七十五万七千円は歳入全体の三十九パーセントを占め町財政の最も主要な財源であり前年度に比べ十六パーセントの増加となっております。

国、県支出金

歳入総額に対し十二パーセントの比重を占める国及び県の建設事業及び農道整備事業費等の補助金など決算額六千六百万円余りで町税に次ぐ主

質単年度収支という)では三千百九十九万九千円の赤字となるわけであり、越小建設等一時的に多額の財政支出に備えた年度の財源調整(財政調整基金制度)措置の結果であり実質単年度収支の赤字が直ちに町財政の破たんを示すわけではありません。

なお四十五年度末における町の長期借入金の残高は、一億九千七百八十九万三千円であり、財政調整基金の現在高は四千七百五十四万四千円、債務負担行為(四十六年度以降に

歳入歳出の規模を前年度のそれと比較すると表一のとおり歳入で三千五百二十九万九千円、歳出は、五千三百八十一万一千円と伸長しており増加率は歳入七・三パーセント、歳出十一・六パーセントを示しております。

これは、越小建設等建設事業費の大巾な伸びと経済成長を反映した町税、地方交付税等の歳入の伸びが基因しているものと思えます。

以上ご説明したとおり四十五年決算においては、国の経済成長の影響もあり町の財政規模も一応伸長し黒字決算となりましたが今後ますます増大する財政需要に対処するため、さらに一層重点的、効率的な財政運営に努めなければならぬものと存じます。

以下内容について若干ご説明します。



度へ繰越いたしました。本年度の療養給付費国庫負担金交付率は昨年度の九十九・五パーセントを上廻る百二パーセントの高率であったため多額の繰越となりましたが繰越額の中返還金三百一十一万三千円と翌年度歳入国庫負担金積算額二百九十五万四千円が含まれておりますので実質繰越金額は四百三十五万九千円となります。

### 二、財政規模の推移

過去五カ年間の財政規模は別表の通りで医療費の引上げと給付率の改善や受診率の上昇等で給付額が増加して年々

国民健康保険事業会計 (単価千円)

区 分	当 算 額		決 算 額		差 引(イ)	引(イ)
	初 算	最 終	前 年	決 算		
歳 入	116,271	109,366	115,579	95,365	20,214	
歳 出	116,271	109,366	105,153	89,827	15,326	
歳 差 引			10,426	5,538	4,888	

### 三、歳入

財政規模の推移 (単位千円)

年 度	歳 入		歳 出	
	決 算 額	指 数	決 算 額	指 数
41	54,134	100	53,442	100
42	74,980	139	70,188	131
43	85,427	158	78,003	146
44	95,365	176	89,827	168
45	115,579	214	105,153	197

### 五、一人当りの受けと払い

被保険者一人当り保険給付額と保険料負担額を比較してみると別表の通りで療養諸費(給付額)から保険料負担額を差引いた額が一人当りの受益額であり年々増加して来ております。

### 1人当り保険料と療養諸費

年度	療養諸費	保険料	差引額
41	5,061	2,450	2,611
42	7,220	3,612	3,608
43	8,315	4,128	4,187
44	9,933	4,272	5,661
45	12,510	5,093	7,417

### 六、受診状況

被保険者一人が一年間でどのくらい受診したか見ますと年々上昇し今年度は平均四・

### 昭和46年度予算の推移 (単位千円)

区 分	予 算 額	左 の 財 源 内 訳			一般財源
		特 定 財 源	其 他		
		国 庫 支 出 金	町 債	其 他	
当 補 正 補 正 計	461,828	57,156	19,000	45,936	339,736
1号6月	52,800	4,934	19,200	6,005	22,661
2号9月	37,656	5,749	—	968	30,939
計	552,284	67,839	38,200	52,909	393,336

### 予算執行状況(上半期) (単位千円)

区 分	入		出	
	予 算 額	収 入 済	予 算 額	支 出 済
町 税	114,070	67,572	議 会 費	14,814
自動車重量税	7,000	2,437	総 務 費	74,933
自動車取得税	227,773	174,135	民 生 費	63,031
地方交付金	120	—	衛 生 費	16,895
交通安全対策特別交付金	30,190	2,328	労 働 費	6,040
交通支分金	12,110	4,077	農 林 水 産 業 費	84,236
使用料及び手数料	23,193	2,292	商 工 費	12,993
国庫支出金	44,646	3,177	土 木 費	87,399
県支出金	4,981	2,521	消 防 費	14,062
財産収入	2,624	100	教 育 費	134,138
寄附金	30,500	7,954	災 害 復 旧 費	2,521
繰入金	8,220	8,220	公 債 費	37,776
繰越金	8,657	2,376	諸 支 出 金	10
債 権	38,200	—	予 備 費	3,436
合 計	552,284	277,189	合 計	552,284

## 昭和四十六年度予算の執行状況(上半期)

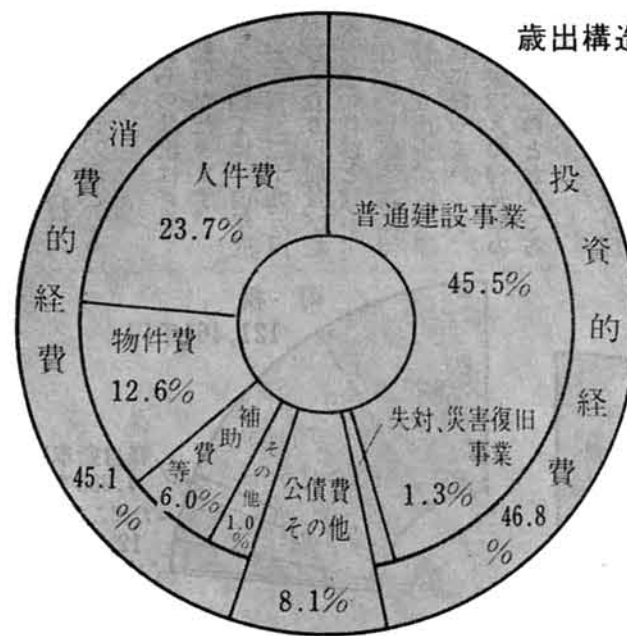
昭和四十六年度一般会計予算は当初四億六千八百八十二万八千円でありましたがその後八千円でありましたがその後の補正により九月末の予算累計額は五億五千二百二十八万四千円となつて前年同期に比べ十一・五％増加しております。六月補正予算では、保育所整備費三千二百八十七万円、長岡地区衛生処理組合負担金四百八十七万円、米生産調整補助金百五十万円、樹形山道

九月補正予算は、環境衛生費百四十四万円、米生産調整対策費三百二十一万円、公共用地先行取得対策の土地開発基金積立金一千五百万円、道路改良費八百九十万円、都市計画排水調査委託費百四十万円、土木施設災害復旧費百五十万円等が補正されました。予算の執行状況は、九月末

現在で、歳入 五十・二パーセント、歳出 四十二・三パーセント

が執行済となり主な建設事業等は殆んど契約済となっております。

今後は国の人事院勧告に準じた職員の給与改訂に要する経費約一千五百万円の補正が見込まれており、景気の落ち込みによる歳入の伸び悩みが心配される現状にありますので更に一層経費の節減に努め慎重な財政運営により効率的な予算執行を行なうべく所



越小建設事業費 九千九百三十四万円  
越小米飯給食施設設備関係 三千三十五万円  
塚小体育館屋根補修費 百八十七万円  
スクールバス購入(二台) 二百八十七万円  
歳出をさらに性質別に検討すると表四のようになります。

性質別経費の内容は、金額的にみると人件費、物件費、普通建設事業費の三者で歳出全体の八パーセントを超えており増減率では普通建設事業費が四十一パーセント伸び人件費、物件費、公債費がそれぞれ十八・十九パーセント

以上の増加となり反面積立金災害復旧事業費が大きく低下しております。

歳出構造についてみるとラフのとおりであり、町勢伸展の基礎となる投資的経費が四十七パーセントであり人件費、物件費、維持補修費、補助費等のいわゆる消費的経費が四十五パーセントとなつて投資的経費の比重が重いことは一応健全な姿であるといわれます。

人件費が歳出全体に占める割合は二十三・七パーセントと前年度の二十二・一パーセントを上回っております。これは、財政規模の伸長率が前年度に比較して低いためであり

表4 性質別歳出の状況 (単位千円)

区 分	昭和44年度		昭和45年度		対前年比(イ)-(ア)×100
	決 算 額(ア)	構 成 比	決 算 額(イ)	構 成 比	
人 件 費	102,107	22.1	122,088	23.7	19.6
物 件 費	54,187	11.7	64,572	12.6	19.2
維 持 補 修 費	10,829	2.3	11,905	2.3	9.9
扶 助 費 等	2,696	0.6	2,513	0.5	△ 6.8
補 助 費	29,873	6.5	30,770	6.0	3.0
公 債 費	27,087	5.9	32,114	6.2	18.6
積 立 金	50,574	11.0	3,590	0.7	△ 92.9
投 資 出 資 貸 付 金	5,478	1.2	5,134	1.0	△ 6.3
繰 出 金	1,000	0.2	1,000	0.2	—
普通建設事業費	165,864	35.9	234,167	45.5	41.2
災害復旧事業費	6,344	1.4	1,578	0.3	△ 75.1
失業対策事業費	5,371	1.2	5,060	1.0	△ 5.8
計	461,410	100	514,491	100	11.5

### 国保会計

### 特別会計

本年三月三十一日現在の一般会計職員数は、百十三人で前年度に比べマイクロスバス運転手二名の増員と保育所保母の一部正職員の切替へのほか殆ど変わりなく年毎に増大する行

政事務を消化している実情であります。

以上昭和四十五年一般会計決算の概要をご説明いたしました。

### 一、決算概況

昭和四十五年年度の収支状況は歳入歳出一億九百三十六万六千円の予算総額に対し歳入総額一億一千五百五十七万九千円歳出総額一億五千五百五十九千円歳出超過額一億四千三百六千円の赤字となり全額を翌年

昭和45年度の主な建設事業の概要 (単位千円)

有放施設更新負担金	522	県道改良負担金	11,180
部落集団移転給水施設	494	町営住宅建設事業	10戸 17,123
衛生排水事業補助	701	防火水槽建設	3基 2,155
神谷岩野線農道整備事業	988m 14,558	越小校舍建設事業	第2年次 98,501
水稲共同育苗センター設置補助	1,093	スクールバス購入	2台 2,790
タバコ共同育苗センター	1,873	スクールバス車庫建設	600
有放施設更新補助	1,930	越小給食施設・設備	29,796
県営農免道路事業負担金	3路線 7,597	岩小給食運搬路舗装	570
飯塚用水埋立借入金償還補助	1,174		
古川排水事業補助	3,647		
町道改良事業費	17路線 2,165m 27,471		

(注) 事業費概ね50万円以下省略した。





← 完成した塚山保育所、正面から

↑ 上、シャワーの設備された幼児プール  
中、保育室  
下、調理室

## 写真でみる 塚山保育所

↓ 遊戯室  
ステージ付の遊戯室  
十一月十九日は関係者、来賓多数出席により盛大に竣工式が行なわれました。



### 防犯はみんなの注意と協力で

#### 年末年始防犯心得

年末年始は交通事故や盗難事件などが激増する時です。越路町でも最近、空巣忍び込みやバイク、自動車の盗難事件が多発しております。いたましい交通事故はますます激増の傾向にあります。盗難や交通事故をなくして明るい年末、年始を迎えるためつぎのことをしっかり守ってください。

戸締りは必ず錠をかける盗難にからぬようにするには、出入口や窓は必ず錠をかける。錠は一つだけでなく補助錠を使う。防犯ベルをつける。大金は銀行などに預けておく。家におかないようにする。通帳と印鑑は別々に保管する。

バイクや自動車にのって近ずき、財布の入ったハンドバッグなどをひたたくて逃げるドロボーが横行します。ハンドバッグ等は右手でしっかりと握り、道路右側端を歩く。自動車の駐車は必ずキイをはさず。自動車の保管はキイをはさずしてドアの鍵をかける。貴重品は車の中におかない。バイクの鍵は必ずはずしておき、なるべく家の中や、錠のある小屋に入れる。少年の非行防止に暖い愛の手を。子供達は忘年会等大人の行事などで享乐的なふん囲気に

影響され、生活が乱れやすくなり、非行に走りやすくなります。子供の行動には細心の注意を払ってください。子供の金の無駄使いは非行に走るもとです。持物などに充分注意してください。

交通事故絶滅で明るい正月を  
冬は、降雪や悪天候により道路条件が悪くなります。スリップなどによる事故が増加します。充分注意して運転してください。  
年末年始は、酒を飲む機会が多くなります。絶対飲酒運転はしないよう。

受診率の年度別推移 (100人当)

	入院	入院外	画科	合計
41	8.00	244.68	73.50	326.18
42	9.42	271.28	76.93	357.63
43	9.61	288.04	79.89	378.14
44	9.42	314.10	81.24	404.76
45	10.16	349.81	86.62	446.59

四回受診したことになります。被保険者一人一人が健康に留意されて明るい家庭づくりを努力下さる様お願いします。

#### 昭和44年度との歳入比較

(単位千円)

区分	昭和45年度		昭和44年度		対前年増減額及び比率	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	比率
国民健康保険料	38,488	33.3%	35,174	36.9%	3,314	109.4%
一部負担金	—	—	—	—	—	—
使用料及手数料	11	—	9	—	2	122.2%
国庫支出金	69,692	60.3%	54,816	57.5%	14,876	127.1%
財産収入	430	0.4%	223	0.2%	207	192.8%
繰越金	5,538	4.8%	3,924	4.1%	1,614	141.1%
繰入金	500	0.4%	500	0.5%	0	100.0%
繰上収入	904	0.8%	711	0.8%	193	127.1%
諸支出金	16	—	8	—	8	200.0%
計	115,579	100.0%	95,365	100.0%	20,214	121.2%

#### 昭和44年度との歳出比較

(単位千円)

区分	昭和45年度		昭和44年度		対前年増減額及び比率	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	比率
総務費	5,796	5.5%	4,793	5.3%	1,003	120.9%
保険給付費	96,829	92.1%	83,045	92.5%	13,784	116.6%
保健施設費	2,118	2.0%	1,786	2.0%	332	118.6%
基金積立金	410	0.4%	203	0.2%	207	202.0%
公債費	—	—	—	—	—	—
諸支出金	—	—	—	—	—	—
計	105,153	100.0%	89,827	100.0%	15,326	117.1%

#### 昭和45年度ガス事業損益計算書

収 益	営業収益	営業雑益	営業外収益
39,295,863円	30,807,668円	7,135,459円	1,352,736円
費 用	営業費用	営業雑費	営業外費用
36,230,024円	25,493,776円	6,142,705円	4,593,543円
<b>純 利 益</b>			<b>3,065,839円</b>

### ガス会計

ントとなり、伸び率は低下しております。決算の結果は、三百六万五千円の純利益を計上することができました。

#### 昭和45年度簡易水道会計決算

(単位円)

区分	最終予算額	決算額	前年度決算額
歳入	3,729,000	3,981,481	6,631,016
歳出	3,729,000	1,668,458	4,951,187
差引	—	2,313,023	1,679,829

### 簡水会計

### ご協力ありがとうございました

#### 赤い羽根共同募金

十月一日から行なって参りました今年の「赤い羽根共同募金」につきましては大変ご協力を頂きまして厚く感謝しその実績を次のとおり報告いたします。

大字募金実績

募金者	募金額
岩野	一六、三三円
仲島	一、二五円
金ヶ島	一四、七三円
浦島	一、五〇円
神谷	一、四〇円
飯島	七、五〇円
篠花	三、八五円
飯島	八、〇五円
西野	九、七〇円
中沢	七、五〇円
来迎寺	八、八五円
朝日	九、四〇円
計	一〇、一八四円

### みんなそろって

#### 明るいお正月を

#### 歳末たすけあい募金

いちじるしい経済発展のかけには、生活にお困りの方や、ねたきり老人、独居老人、心身障害児在宅家庭など多くの福祉問題をかかえている人達が数多くおられます。歳末の時期にあたり、これらの人達がそろって明るい正月を迎えられるよう皆さんの温かいご協力を心からお願ひ申し上げます。募金方法につきましては大字総代を経て各家庭へ募金封筒をお配りしますのでよろしくお願ひします。



# 秋の叙勲

## と表彰

十一月三日文化の日に当町の藤井正氏が栄ある叙勲を受られました。また各分野でいろいろ活やくされている方々に、今年褒賞や表彰がありましたのでご紹介します。



藤井 正氏

地域住民の健康を守る医師として、医療業に献身されている多忙の中で、長年にわたり学校保健医の要職を勤められ、児童、生徒の健康管理や保健衛生指導に多大の貢献をされました。

高橋 栄吉氏  
黄 綬 褒 章

長年杜氏として活躍され、町杜氏組合、新潟県酒造従業員組合、全国杜氏会等の要職にあって斯道振興のために献身的努力を続け、後輩の育成指導に多大の貢献をされました。

松井 清氏  
内閣総理大臣表彰

昭和四十五年十月一日で実施された国勢調査において、調査員として献身的努力をされ、調査結果はきわめて正確で成績優秀でありました。



酒井 一郎氏  
県知事表彰

地域の特産であった養蚕を不動沢部落に取りもどすために、農業改善事業により近代化施設を実施し、更に不動沢協業養蚕組合を結成して経営の合理化を推進、常にその中核となって献身的努力をされました。



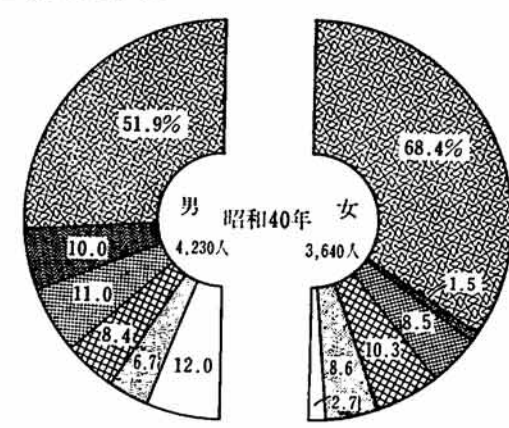
杉茂 勇吉氏  
新潟県統計協会  
総裁表彰

昭和三十五年以來、国勢調査、世界農林業センサス調査をはじめ、国の統計調査、県の統計調査の数多くの調査員として従事、献身的努力を続けておられます。

# 統計でみる町のすがた

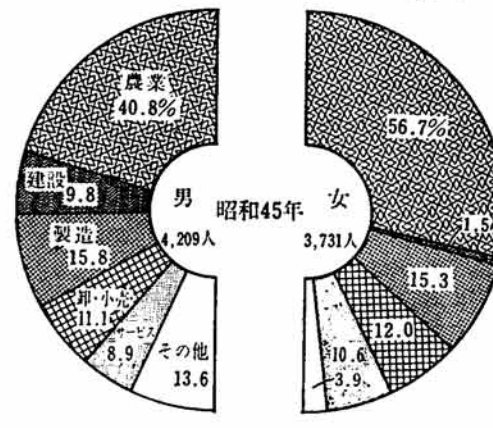
## 就業構造

**女性就業者が増加**  
町の人口が減少していることは、前からお伝えしてきましたが、それでは就業状態はどのようなになっているか？



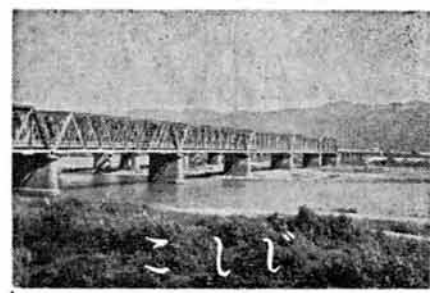
これを男女の内訳で見ると男性が四千二百三十人から、四千二百九人と減っているのですが、女性は昭和四十年の三千六百四十人から、三千七百三十一人と増加しております。

女性の職場進出は、全般的傾向ですが、当町でもそれを見ることが出来ます。



町の就業者を、産業別就業状態で見ると第一産業が三千八百三十四人で、全体の就業者の四八・三パーセント、第二産業は千八百人で二二・七パーセント、第三産業が二千三百六人で二九・〇パーセントと第一産業（農林漁業）が半分以上となりました。

五年前の四十年調査では、第一産業就業は全体の五九・六パーセント、十年前では六七・九パーセントと就業者の半分以上が農業従事者でした。



# 浜海会

第一クラブ 内山 慶松  
第二クラブ 馬場 謙司  
会長 百二十一名  
会員 百二十一名

浜海川の如く、お互いに清き心で生きぬく...こんな意味で私達の会の名前がつけられました。

昭和三十八年十二月五日にこの会が結成されて以来、定期総会、臨時総会、役員会、幹部会などで会の運営について話し合ってきました。

そして、座談会や敬老号による旅行会、入湯レクリエーションなどを開催し、老人の生活の中に楽しみや、生き甲斐を感じるようにしております。



整備された校庭と奉仕のPTA会員

いくと世の歎業苦痛夢の間に古稀を迎えて嬉しはずかし  
山本信吉

係では、みなさまからの寄稿をおまちしています。

## 環境緑化 コンクール に受賞

岩塚 小

児童の情操教育と、環境美化に取り組んでいる岩塚小学校は、今年もその実績が認められ、環境緑化コンクールの部で入選いたしました。

これは県内三ヶ校の選に入ったもので、十一月二日弥彦神社で行なわれた県森林まつりの会場で賞状が授与されました。

学校当局のご努力と、地域住民のご協力に対し拍手を送ります。

## おらが町から 新嘗祭の献穀米

宮中御儀の中でも重要な行事とされていく新嘗祭には全国からその年に収穫された米と粟が献納されて厳かなる儀式が行われるのであります。今年の新潟米を代表しておら



が町の泉島石坂堅次さんが耕作された「越光」が献穀に選ばれました。

去る十月二十八日には晴れて宮城参入を許され宮中賢所参集所で行われた献穀式には婦人同伴で出席の上丹精こめて栽培された「越光」精米一升を献納され身近かに両陛下に拝謁の上感謝の言葉を賜って参りました。

石坂さんは現在家族八人で水田二・四ha、畑四・六haを

## 神と仏 (2)

### 道ばたの神

**わたしり 渡守の道祖神**  
朝日部落の西北端で、丸山恵さん宅の脇にま新しい石に「道祖神」ときざまれた石塔が一つ建てられている。私はこれを「渡守の道祖神」と名付けた。最近用水路工事によって古い道祖神が紛失されたのを知って、請負業者にお願いして再建してもらったのであるが、石が少し小さすぎた。古いものには、たしか文化年間の年号がきざまれていることを記憶している。

この道祖神は、親沢から



朝日へと、舟で浜海川を渡ったところに位置しており、この辺を「渡場」とも言われている。そして浜海川を渡った人々は、十楽寺用水路に沿って右が十楽寺通り、左が村中を通過して小千谷方面へ行く「浜道」であることを知るであろう。

「浜道」とは、出雲崎から小千谷を通過して魚沼方面へ海の幸を運ぶ街道のことを土地の人々は「浜道」と呼んでいるのである。出雲崎から西山山脈を越えて与板に出、脇野町を通り雲出から黒川を渡り白鳥へ。そして関原丘陵を下下して、親沢から浜海川を渡り朝日へ。そしてさらに来迎寺原片貝を通り小千谷へと、そこから各魚沼地方へと魚商の往来が旅を続けた道なのである。